資料６－１

まち・ひと・しごと創生に関する市民意識調査　実施概要（案）

１　市民意向調査の目的

- 市民の結婚・出産・子育て等に関する意識や希望を把握し，目指すべき持続可能な人口体系等の整理，総合戦略の施策への反映を行うための検討材料とする。
- 人口ビジョンに掲載予定の将来人口推計の仮定値の設定にあたり，結婚を希望する独身者の割合や，結婚後に持ちたい希望の子供数を把握する。（パラメータ設定に必要な問は社人研レポートより設定する。）

２　市民意向調査の調査実施手法

- 調査対象は，市内在住の 18 歳（男女ともに結婚可能な年齢）以上 49 歳未満（社人研調査と同範囲）の男女 2,400 人とする。
- 調査方法は，郵送調査法（発送：角２定型封筒，回収：長３定型封筒）とする。
- 調査票は，各 15～20 間程度，各調査とも A4 モノクロ印刷とする。
- 現施策の PR，認知度について設問追加する。
- 結婚や出産，子育ての内容であるため，デリケートな面もあるため聞き方に留意する。

３　市民意向調査の調査票設計の考え方

- 回答への抵抗感の軽減に対応するため，回答しやすい設問を冒頭に配置する。
- 人口推計の仮定値設定には，政府実施の出生動向基本調査（直近は第 14 回）における設問と同一とする。そのため，現時点では，関連する設問をフルスペックで設定している。（次頁の赤文字の設問を除き取捨選択が必要）
- 属性は，性別，年齢，居住地区に加え，結婚，出産，子育てに関わりが深い以下の項目を設定する。
  - 結婚観，出産観，子育て観に対するクロス分析
    - ・職業（正規職員，パート・アルバイト，派遣・属託・契約社員，自営業者・家族従業者，学生，無職・家事）
    - ・学歴（大学・大学院，専門，高校，中学）
  - 結婚・子育てに対する親の支援とのクロス分析
    親との同居（別居の場合，どの位置か）

４　市民意向調査設問骨子

- つくば市民意識調査の経年変化の把握のための分析（問 1～2）
- 人口将来展望でパラメータとして用いる必須回答は*斜文字*（既婚の場合：問 8・9，未婚の場合：問 15・16）
- 総合戦略の柱別の分析（問Ａ・Ｂ）

・ 市民意向調査設問骨子を以下に示す。

問 1　永住希望（H25 つくば市民意識調査と同一）
問 2　つくば市の住み心地とその理由（同上）

↓

問 3　既婚・未婚の別で分岐

既婚

結婚について

問 4　結婚までの過程
問 5　出会いのきっかけ
問 6　結婚を決めたきっかけ

出産について

問 7　これまでに生んだ子供の数，子供を産んだ場所，周産期医療への満足度（期待度）
問 8　*子どもについての希望（希望の子供数，その男女の組み合わせへの希望，出産の希望年齢*，出産したい場所）
問 9　*持つつもりの子どもの数と希望する時期*
問 10　最終的にもつつもりの子どもの数
問 11　最終的に持つつもりの子どもの数が希望する子どもの数と異なる場合の理由

子育てについて

問 12　もちたい子どもの数を持てない場合の理由
問 13　子育てに対する周囲からの支援
問 14　結婚，男女関係，家庭，子どもを持つことについて例示する考え方に対する賛否
問 15　教育関係への満足度（期待度）

未婚

結婚について

問 4　結婚・独身に関する考え
問 5　独身生活の利点
問 6　結婚生活で気にかかること
問 7　女性の生き方について
問 8　結婚についての考え
問 9　結婚する場合，そのタイミング
問 10　1 年以内の結婚に対する考え
問 11　結婚時の希望年齢（相手も含む）
問 12　結婚相手を決める際に重視する項目
問 13　結婚時に障害になること
問 14　現在，独身でいる理由

出産について

問 15　*子どもについての希望（希望の子供数，その男女の組み合わせへの希望，出産の希望年齢*，出産したい場所）
問 16　*異性との交際状況（交際希望または結婚希望）*
問 17　結婚，男女関係，家庭，子どもを持つことについて例示する考え方に対する賛否

子育てについて

問 18　子育てに対する周囲からの支援
問 19　結婚，男女関係，家庭，子どもを持つことについて例示する考え方に対する賛否
問 20　教育関係への満足度（期待度）

↓

問 A　総合戦略の 4 つの柱の個別施策の優先度
問 B　総合戦略の 4 つの柱の個別施策の重要度

↓

問 C　日頃の生活を通じて，導入してほしい，あるいは充実してほしいと感じている施策
問 D　結婚，出産，子育て，少子化，人口問題などについてのご意見

図　結婚・出産・子育てアンケートの設問項目（案）

つくば市人口ビジョン・総合戦略策定に係る

高校・大学卒業予定者の進路動向調査　実施概要（案）

1　アンケート調査票（目指すべき将来の方向）設計の考え方

- 調査票は，各 10 問程度，各調査とも A4 版 2 ページ（回収率向上のため）とする。
- 市内の高校生の半数は，市外居住者であることをふまえ，設問を設定する。
- 大学卒業予定者は，回収率の向上を図るため“web アンケート”による調査も視野にいれるなど工夫する。

2　アンケート調査票骨子案

- 設問骨子を表 2.1 に示す。
- つくば市民意識調査の経年変化の把握のための分析は（問 1~6）
- 総合戦略への展開を意識し，農業，科学への関心度を聞くものとして（問 3）

表 2.1 高校・大学卒業予定者の進路動向調査

	高校卒業予定者の進路動向調査	大学卒業予定者の進路動向調査
対象	市内 7 つの高校 3 年生約 1,350 人程度	市内 3 つの大学 4 年生約 3,000 人程度
調査方法	直接配布・直接回収を想定	直接配布・郵送回収を想定
問 1	現在の居住地	出身高校地及び現在の居住地および居住形態
問 2	つくば市への関心度	つくば市への関心度
問 3	希望進路 就職の場合，希望職種（自営業，会社員，研究者）	希望進路（就職か大学院進学か） 就職の場合，希望職種（自営業，会社員，研究者）
問 4	通学・通勤方法の想定	通学・通勤方法の想定
問 5	将来の勤務地の希望	将来の勤務地の希望
問 6	つくば市で就職したい理由・ したくない理由	つくば市で就職したい理由・ したくない理由
問 7	就職先を選ぶ際に最も重視すること	就職先を選ぶ際に最も重視すること
問 8	将来の居住地の希望（就職時・子育て時等）	将来の居住地の希望（就職時・子育て時等）
問 9	つくば市に住みたい理由・ 住みたくない理由	つくば市に住みたい理由・ 住みたくない理由
問 10	居住地を選ぶ際に最も重視すること	居住地を選ぶ際に最も重視すること

●アンケートの実施スケジュールについて

６月５日に開催予定の有識者会議，６月 15 日に開催予定の第３回本部会議においてアンケートの設問等の詳細を御確認いただき，６月中旬以降アンケートの発送，とりまとめ，分析等を行い，７月上旬の第３回幹事会の際に第一報を御報告できるよう進める予定。